

平成28年度使用中学校用教科用図書の採択理由について

種目	発行者名	主な採択理由
国語	光村図書	<p>全学年7つの単元と文法・漢字等の資料とで構成され、関連ページを本編中に示すことで、段階的な学習を進められるように工夫されている。3年間を通じて、言葉をテーマにした教材を位置付け体系的な学習を進めることで言葉についての思考が深まるように工夫された構成となっている。「読むこと」の指導では「目標」「確認しよう」「読みを深めよう」「自分の考えをもとう」の順で課題が示され、基礎的・基本的な技能の習得とともに、より課題に沿った読みが深まることに重点を置いた構成となっている。古典単元では、各学年で、「いろは歌」など音読による学習への導入により伝統的な言語文化への関心を高める工夫がなされている。さらに、現代語訳、脚注なども豊富で、生徒の主体的な読みや学習が進むように工夫されている。</p> <p>学習教材の後の「学習を振り返る」や「生活に生かす」「他教科に生かす」により学習成果の確認とともに、内容を活用する場を用意することで、言語活動がより効果的に指導できるよう工夫がなされている。</p>
書写	教育出版	<p>各学年の目標をとらえ、系統的に学習できる教材となっている。基本点画の復習など小学校との関連にも配慮されている。運筆は、薄墨と朱墨で示し、穂先が通る位置が具体的に示されている。</p> <p>内容について、国語の教科書教材を活用し、国語科の授業における書写の活動が明確に示されている。また、毛筆で学習する場面でも硬筆の練習を設定するなど、毛筆の運筆の学習が硬筆で書く能力の基礎となるように構成されている。一つの教材について目標に合わせた複数の手本を用意し、日常生活における「書く場面」への対応が意識されている。</p> <p>写真資料も豊富である。文字の技能向上に関する資料の充実と同時に、書に関する「用具」、「歴史的人物」など多角的に関心を高める工夫がなされている。また、カラーユニバーサルデザインを本文に取り入れ、判読しやすい配色やレイアウトの工夫がなされている。</p>
社会 (地理的分野)	東京書籍	<p>見開きのはじめに学習課題を設け、本文と資料によって基礎的・基本的な知識を習得できる構成になっている。「地理にアクセス」や「調査の達人」等を随所に設け、話題になっている地理的事象や調査を進める上での技能等を示し、地理的な見方や考え方を育成するよう工夫されている。見開き終わりの「確認」で、短時間で言語活動に取り組むとともに、世界の各州や日本の各地方の学習の最後にまとめの言語活動を設け、思考、判断した内容を自分の言葉で説明し、表現力が身に付くように工夫されている。</p> <p>見開きの「えんぴつマーク」で主体的な学習を促し、「深めよう」や「学習をふり返ろう」では環境問題や多文化社会、人口問題等を話し合い、さらに深く単元の課題を追究し、地理的な事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断することができるようにしている。挿絵や地域の人物の発言が随所に挿入され、各地域の生活に対する地理的認識を発見でき、生活する人々の実態や土地への対応や思いを感じることができるよう工夫がされている。</p>
社会 (歴史的分野)	東京書籍	<p>見開きを1単位時間として導入部分の絵や写真、学習課題、本文、資料、まとめにあたる「確認」で構成され、章毎に学習した概念を確認するために設置されている「この時代の学習を確認しよう」や「歴史スキルアップ」によって、基礎的・基本的な知識・技能が確実に身に付くよう工夫されている。</p> <p>学習課題に対し振り返りを行う「確認」欄や章末毎に設けられている「この時代の特色をとらえよう」というページでは、「ウェビング」「比較表」「ディスカッション」などにより、生徒が多様な言語活動を行い時代の特色をとらえ、思考力・判断力・表現力を育成する工夫がされている。</p> <p>見開き毎にページの下に設置されている世紀と時代のスケールには、現在学んでいる時代が「この見開きの時代」として矢印で示され、どの時期を学習しているのか理解しやすい。各章のまとめと次の章の導入部分が年表で接続されていて、歴史の流れが把握しやすく、さらに章の導入に小学校の学習を振り返るプロセスが設けられ小学校との学習の系統性が図られている。</p>

種目	発行者名	主な採択理由
社会 (公民的分野)	東京書籍	<p>見開きのはじめに学習課題を示し、最後の「確認」では、知識の習得や学習内容を深める課題が設定されている。さらに章末の「この章の学習を確認しよう」で重要用語の確認や書き込み作業を取り入れ、必要な知識の定着を図るなど、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫がされている。</p> <p>見開きにも「えんぴつマーク」を各箇所挿入し、短時間で取り組める言語活動を設けるとともに、章末や章のはじめに「X市の市長選に立候補しよう」等シミュレーションを取り入れた学習を行い、さらに模擬裁判などを実施する「公民にチャレンジ」を設け、多面的・多角的な見方を養い、思考力・判断力・表現力を育成するための工夫が随所になされている。「深めよう」が各章毎に配置され、学習をさらに掘り下げ、発展させるよう工夫している。</p> <p>中学生が社会参画している写真や地域で活動している写真、話題など地域の課題解決や持続可能な社会の実現について考える活動を掲載し、社会への関心や社会参画していく意識と態度を養うような工夫がなされている。</p>
地図	帝国書院	<p>巻頭の「この地図の使い方・地図の構成」と「地域の特色をとらえるポイント」で読図の視点や地理的特色の追究方法を示し、読図の技能が身に付くよう工夫されている。世界各州の資料のページに「日本との結びつき」の資料を必ず取り上げ、世界の諸地域を日本との関係からとらえられるように構成されている。さらに、「地図を見る目」というコーナーを随所に設け、地理的な見方や考え方の基礎が身に付くように工夫されている。</p> <p>地図から読み取る学習活動や言語活動を促す「やってみよう」のコーナーを随所に設け、生徒が自ら社会的諸課題について考えたり、話し合ったりすることができるよう工夫がされている。さらに環境問題や災害問題を特集したり、各州・地方毎に環境問題や防災・災害に係る資料図を掲載したりするなど、地理的認識や今日的な課題の考察を深める工夫がなされている。</p> <p>江戸時代の東京の地図や鳥瞰図「本州中央部」に江戸時代の五街道とその全宿場を掲載したり、国際機関への参加国を示したりして、歴史・公民的分野との関連を図っている。</p>
数学	啓林館	<p>本文中に「ふりかえり」マークが示され既習事項の確認ができ、章末の「基本の確かめ」や巻末の「くり返し練習」では本文参照ページが示され基礎的・基本的な内容を反復して学習し定着を図るようになっている。巻頭「学習の進め方」では、学習する手立てやノートの書き方が示されている。「みんなで話し合ってみよう」「自分のことばで伝えよう」「自分の考えをまとめよう」など数学的活動の場面が設定され、考えをまとめたり、表現したりする活動を取り入れ、思考力・判断力・表現力を育成する工夫がなされている。</p> <p>また、論理的に考えるための「千思万考」、数学を深めるための「数学展望台」、さらに、日常生活との関連付けを図るための別冊「Math Naviブック」が教科書に挟み込まれ、興味・関心を高め、主体的に学習を広げていく構成になっている。別冊では例えば、小中の連携を意識した課題や、学んだ数学を進んで活用する課題など、数学の有用性に着目した題材を取り上げている。</p>
理科	東京書籍	<p>観察・実験について、目的を明確化し、方法、結果、考察などの探究の過程を分かりやすく示し、主体的な取り組みを促すように配列され、「予想しよう」「考えよう」などの思考力・表現力を育成する場面を設け、科学的な見方や考え方を育成できるように構成されている。</p> <p>学力の向上では、例題・練習・確認というスモールステップの練習問題を設定し、つまづきを解消し、定着度を向上させる工夫がなされている。</p> <p>安全面の配慮では、注意事項をマークによって区別し、注意内容を分かりやすく表示している。</p> <p>インパクトがあり、資料性の高い写真等を多く掲載し、身近な事物や現象から、自然の不思議さや科学の楽しさを伝える工夫がある。「ニッポンの科学」「科学でGO」では、日本が世界に誇る最先端の科学技術や国際貢献、実生活との関連を紹介し、理科を学ぶ有用性を実感できる工夫がなされている。</p> <p>単元配列は、指導時期や系統性を踏まえた配列である。</p>

種目	発行者名	主な採択理由
音楽 (一般)	教育芸術社	<p>音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるために、豊かな表現・鑑賞活動のもととなる「知覚・感受」「思考・判断」にかかる題材を系統的・発展的に配置するとともに、「音楽MAP」で示している。また、音符や休符や記号等の〔共通事項〕を繰り返し確認するとともに、基礎的な技能の習得を発達段階に応じて習得できるように工夫されている。</p> <p>具体的な学習の場面では、曲の構成やパートの役割について、〔共通事項〕と関連させながら思考・判断する場面を設け、表現方法を工夫する構成になっている。また、「歌い継ごう 日本の歌」など、写真や縦書きの歌詞、作詞者や作曲者の言葉を掲載するとともに、「心通う合唱」として、発達の段階に応じて生徒が慣れ親しんだ様々な合唱曲が掲載されている。</p> <p>我が国の伝統的な音楽については、民謡、長唄、能が系統的・発展的に取り上げられ、各学年とも表現と鑑賞の一体化が図られた教材が選択されている。</p>
音楽 (器楽合奏)	教育芸術社	<p>音楽を愛好する心情を育成し、基礎的な能力を定着させるために必要な資料を題材ごとに具体的に示す構成となっている。また、「音楽 MAP」によって系統的な学習・発展的な学習の流れを示すとともに、〔共通事項〕をもとに学習内容を簡潔に示し、学習内容を明確にしている。</p> <p>具体的な学習の場面では、扱う楽器ごとに、楽曲の難易度が上がるように配列が工夫されている。また、身に付けた基礎的な奏法を生かして、様々な独奏やアンサンブルの曲が掲載され、〔共通事項〕と関連させて編集されている。さらに、各楽器の構造や各部分の名称が大小の写真を用いて説明されており、姿勢や奏法は多角的に見比べられるように工夫されている。</p> <p>我が国の伝統的な音楽については、和楽器の特徴、音色や奏法を具体的に解説し、「楽器を知ろう」「和楽器こぼれ話」により和楽器への理解や関心を深められるよう工夫されている。</p>
美術	日本文教出版	<p>美術1、美術2,3の上と下の3分冊でA4のワイド判を採用し、生徒の発達の段階に応じた多様な学びが選択できる構成になっている。感性を豊かにするために、生徒が自己の成長を見つめ実感できるよう自分・他者・生活と社会・自然と環境といったつながりと広がりのある題材構成とし、基礎的・基本的な事項から美術文化の理解まで豊かな情操を養う工夫をしている。</p> <p>基礎的・基本的な技能の習得のために、題材ごとに参考作品やアイデアスケッチが数多く掲載され、併せて作者の言葉を紹介することで、生徒が発想したり構想したりする際の広がりや支援するように工夫している。</p> <p>題材を系統的に配列し、「POINT」というコーナーを設けたり、美術館の取組を紹介したりするなど、道徳や他教科、キャリア教育との関連を意識した構成となっている。</p> <p>鑑賞図版が無理なく配置され、原寸大の作品を取り入れたり、版画作品などは実物の和紙を採用したりするなど、より本物の質感に近付けることで生徒の感性に働きかける工夫がされている。</p>
保健体育	東京書籍	<p>保健編、体育編が学年に分けて配置され、各学年で学ぶべき学習内容や各学年間の学びの系統性が分かりやすい。</p> <p>各章は、「今日の学習」で課題を把握し、「やってみよう」で本文や資料から学び、「考えてみよう」で学んだ知識を活用し、「生かそう」で自分の生活に生かしたり、興味・関心に応じてさらに調べたりする活動を行う等、基礎的・基本的な知識を習得し、それを活用する構成となっている。</p> <p>また、学習内容を広げたり深めたりするために、「読み物」資料や「章末資料」をバランスよく配置している。さらに生徒の身近な課題や今日的な課題を取り上げ、自主的に習得・探究に取り組みやすい工夫がされている。</p> <p>AB判のワイドな見開きで、現在活躍するアスリートの写真やイラスト等も豊富で、生徒が興味・関心をもって取り組める紙面構成である。</p> <p>章末の「確認の問題」等では、知識の定着を確認し、その知識を活用して考え、さらに学習を振り返って自己評価が行えるような工夫がされている。</p>

種目	発行者名	主な採択理由
技術・家庭 (技術分野)	東京書籍	<p>基礎的・基本的な知識と技能を習得させるため、「目標」が明確化され、「やってみよう」「考えてみよう」という導入から、「まとめよう」「生活に生かそう」という一連の学習の流れが、分かりやすく見通しをもって学習が進められる構成であり、問題解決的な学習に取り組みやすくなっている。学習内容ごとのはじめに、小学校の学習内容の振り返りを設けている。</p> <p>生活と技術のかかわりについての理解を深めるため、身近な生活と関連付けた課題を解決させるための手立てが示され、実験・観察などの実践的・体験的な学習が豊富に取り入れられている。</p> <p>進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てるため、「資料 技術の天びん」や「技術の匠」などを設け、学習の深化を図り、創意工夫して未来の生活を創造する力を育成する工夫がされている。</p> <p>安全への配慮として「安全」「衛生」のマークを用い、巻頭資料「実習を楽しく安全に進めよう！」等では、実習全体にかかる注意事項を掲載している。</p>
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂	<p>基礎的・基本的な知識や技術を習得できるように、「学習の目標」が明確化され、「考えてみよう」「話し合ってみよう」という導入から、「参考」という発展的な学習まで、主体的に学習に取り組んでいける構成になっている。巻頭に「家庭分野の学習をはじめよう」を設け、小学校で学習した内容の振り返りから中学校の家庭分野の見通しをもたせる工夫がある。</p> <p>生活と技術のかかわりについて理解を深めるために、生徒が自立して生活を営む上で必要である課題を提示し、実習や製作などの実践的・体験的な学習活動が豊富に設定されている。</p> <p>進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を育てるために、衣食住にかかわる伝統・文化、知恵や技術のすばらしさを紹介し、創造する力を育成できるよう工夫がなされている。</p> <p>安全への配慮として、「安全」「衛生」「防災」のマークを用い、「安全と防災」として巻末に掲載している。</p>
英 語	開隆堂	<p>3学年を通して、各課（PROGRAM）に4技能の活動を配置し、コミュニケーション能力の基礎を繰り返しそして総合的に養う構成となっている。</p> <p>各課では、文型・文法事項を使用場面が分かりやすい対話形式で示し、活動の中で習得させる工夫がされている。3つの課の終わりには、各課で学習した基礎的な技能を発展的、総合的に活用するMy Project を設け、さらに学習の進行に合わせて日常的によく使われる表現を、各技能あるいは技能を統合して伸ばす活動 POWER-UP も設定し、基礎の定着を目指している。</p> <p>各課での題材の他、Reading に重点を置いた課が複数配置され、加えて補充用読み物教材も用意され、取り組みやすい。</p> <p>巻末の「英語で『できるようになったこと』リスト」で、身に付けたいコミュニケーション能力の目標が明確にされ、学習の理解度や定着度が確認できるように工夫されている。第1学年に小学校外国語活動を復習する課「Let's Start」、目次に小学校でふれた表現を青字で示す等、小学校外国語活動との円滑な接続への配慮がされている。</p>